

「京都市地球温暖化対策計画の策定及び  
施策の評価、見直しのための体制について」

答 申(案)〈抜粋〉

京都市における温室効果ガスの排出量及び排出目標量等

単位：万トン

		1990年	2002年	2010年			
		排出量	排出量	2002年比	削減量	排出目標量	基準年比
二酸化炭素	産業部門	203 (100)	151 (74)	-10%	15	136	-33.0%
	運輸部門	169 (100)	191 (113)	-10%	20	171	+1.2%
	民生・家庭部門	174 (100)	204 (117)	-10%	21	183	+5.2%
	民生・業務部門	188 (100)	196 (104)	-10%	19	177	-5.9%
	エネルギー転換部門	10 (100)	7 (66)	-10%	1	6	-40.0%
	廃棄物部門	25 (100)	31 (127)	-10%	3	28	+12.0%
	森林吸収	-	-	-	12	-12	-
	その他5ガス	36 (100)	42	-14%	6	36	±0%
	合計	805 (100)	822 (102)	-12%	97	725	-10.0%

注1 括弧内は基準年を100とした場合の指数である。

注2 その他5ガスとは、メタン、一酸化二窒素、パーフルオロカーボン、ハイドロフルオロカーボン及び六ふっ化硫黄である。

各部門において、それぞれ社会状況の推移と削減取組の進捗について、課題と展望を異にするものの、各部門を取り巻くこの間の動向から、各部門ともに排出量を削減できる可能性があり、それぞれの排出量の推移からみても、現時点から各部門が等しく削減に取り組むことが、わかりやすく、かつ、妥当であると考えられます。

したがって、二酸化炭素の部門別削減目標は、2002年レベルから各々10%削減を目指し、合計79万トン削減することが適切であると考えます。